

# 令和8年度 J A 共済の運用益の使途について

令和8年4月

## JA共済の運用益事業について（令和8年度）

令和8年度計画額

合計額：1,131,780千円（43,006千円増（3.9%））

### <主な変更点>

（単位：千円）

#### 新規

##### 自動車事故防止対策

内容	金額	
自転車の交通安全啓発コンテンツの作成・展開 ○改正道路交通法で施行された青切符制度の導入をふまえ、自転車利用時の交通ルールの啓発に向けた動画等を作成・展開する。	25,000	—

（単位：千円）

#### 拡充

##### 自動車事故防止対策

内容	金額	前年度増減
生徒向け自転車交通安全教室の実施 ○教育方針の変更をふまえた内容の見直し等を行うため増額する。	276,760	27,560 (11.1%)
シルバー世代向け交通安全教室の実施 ○活用機会拡大を図るため増額する。	104,210	29,210 (39.0%)
シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 ○活用機会拡大を図るため増額する。	98,400	3,800 (4.0%)

#### 減額

##### 自動車事故防止対策

内容	金額	前年度増減
自転車の交通安全教育の充実化に向けた啓発コンテンツの展開	1,700	▲28,300 (▲94.3%)

##### 救急医療体制の整備

救急医療機器等購入費補助	325,000	▲10,000 (▲3.0%)
--------------	---------	--------------------

### <予算の推移>

（単位：百万円）

令和6年度	令和7年度 (a)	令和8年度【案】 (b)	増減額 (b-a)	増減率 (%)
1,067	1,088	1,131	43	3.9

## 自賠責共済運用益拠出事業（詳細）

### 1. 自動車事故防止対策

（単位：千円）

事業の内容(令和8年度) 【 】内は事業主体	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 全国一斉交通安全運動の協賛 全国のJA等で交通安全運動期間中に同運動ポスターを掲示し、交通事故防止を図る。【内閣府他】	1,000	724	1,000	1,000	0	0.0%
(2) シートベルト・チャイルドシート着用推進運動の協賛 シートベルト・チャイルドシート着用促進の広報活動等により交通事故防止を図る。 【シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会】	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0.0%
(3) 自動車点検整備推進運動の協賛 自動車点検整備推進運動に協賛し、交通事故の防止を図る。【自動車点検整備推進協議会】	500	500	500	500	0	0.0%
(4) 交通安全スローガン・ポスター募集事業への協賛 交通安全スローガンおよび当該スローガンを使用したポスターの募集を行い、優秀作品を活用した啓発活動を実施し交通事故の防止を図る。【毎日新聞社・(一財)全日本交通安全協会】	2,750	2,750	2,750	2,750	0	0.0%
(5) 全日本交通安全協会の支援 交通安全に関する広報活動、交通安全表彰、交通安全教育の推進等を実施する(一財)全日本交通安全協会を支援し、交通事故の防止を図る。【(一財)全日本交通安全協会】	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0.0%
(6) 反射材を活用した交通安全啓発活動の実施 夜間の交通事故防止に効果的な反射材の普及促進を図るため、反射材フェアに協賛する。【(一財)全日本交通安全協会 (後援予定：警察庁)】	6,500	6,500	6,500	6,500	0	0.0%
(7) 生徒向け自転車交通安全教室の実施 全国各地で、中高生を対象とした交通事故の実演(スタントマン)により自転車事故の危険性を学ぶ交通安全教室を開催し、交通事故の未然防止を図る。【JA共済連・各都道府県警察本部】	239,750	237,438	249,200	276,760	27,560	11.1%
(8) シルバー世代向け交通安全教室の実施 高齢者を対象とした交通安全講話や敏捷性測定等の交通安全教室を開催し、交通事故の未然防止を図る。【JA・JA共済連】	88,000	48,584	75,000	104,210	29,210	39.0%
(9) シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 高齢者を対象とした交通事故未然防止に向けた自動車安全運転診断等により、交通安全意識の向上促進を図る。【JA・JA共済連】	83,200	74,155	94,600	98,400	3,800	4.0%
(10) 交通安全啓発活動の浸透・定着に向けた取組み 交通事故防止対策について一元的にまとめた情報発信を定期的実施し、効果的な展開・活用促進を図る。【JA・JA共済連】	10,000	1,233	10,000	10,000	0	0.0%
(11) 歩行者向け交通安全啓発活動の実施 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発活動を実施し、反射材の着用促進を図る。【JA・JA共済連】	60,000	16,374	50,000	50,000	0	0.0%
(12) 自転車の交通安全教育の充実化に向けた啓発コンテンツの展開 改正道路交通法で施行される青切符制度の導入を踏まえた、自転車利用時の交通ルールの啓発に向けた動画等を展開する。【JA共済連他】	—	—	30,000	1,700	▲ 28,300	▲94.3%
(13) 自転車の交通安全啓発コンテンツの作成・展開 自転車利用時の交通ルールの啓発に向けた動画等を作成・展開する。【JA共済連他】	—	—	0	25,000	25,000	—
小 計	494,700	391,261	522,550	579,820	57,270	11.0%

## 2. 救急医療体制の整備

(単位：千円)

事業の内容(令和8年度)	【 】内は事業主体	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 救急医療機器等購入費補助 地域の救急医療を担う厚生連病院等に対して救急医療機器等の購入費を補助し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。全国の厚生連病院100病院のうち、93病院が救急告示を、32病院がへき地医療拠点病院指定を受けている。(令和7年3月31日現在)【厚生連病院他】		345,000	343,612	335,000	325,000	▲ 10,000	▲3.0%
(2) 救急ヘリ普及推進活動の支援 救急医療用ヘリに関する啓発・広報活動を支援し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。 【認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク】		5,500	5,500	5,500	5,500	0	0.0%
小 計		350,500	349,112	340,500	330,500	▲ 10,000	▲2.9%

## 3. 自動車事故被害者対策

(単位：千円)

事業の内容(令和8年度)	【 】内は事業主体	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 自賠責制度周知活動の実施 自賠責共済・保険の未加入車両の解消を図る自賠責制度周知活動を通じて、被害者救済を図る。 【国土交通省他】		3,000	2,992	4,000	5,000	1,000	25.0%
(2) 交通事故無料法律相談事業の支援 自動車事故損害賠償に関する無料法律相談事業を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通事故紛争処理センター】		47,335	47,335	61,326	58,366	▲ 2,960	▲4.8%
(3) 交通事故無料法律相談機関の支援 交通事故に関する無料法律相談機関を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)日弁連交通事故相談センター】		20,000	20,000	10,000	10,000	0	0.0%
(4) 介助犬の普及支援 身体障害者の日常生活を補助する介助犬の普及活動を支援し、被害者救済を図る。 【(社福)日本介助犬協会・NPO法人日本補助犬情報センター・JA・JA共済連】		50,050	42,399	46,300	46,300	0	0.0%
(5) 交通事故医療研究の支援 交通事故医療に関する研究を公募のうえ選定した医療研究25件に助成し、医療の進歩に寄与することを通じて被害者救済を図る。【公募】		25,000	25,000	25,000	24,330	▲ 670	▲2.7%
(6) (公財)交通遺児等育成基金の支援 交通遺児の生活基盤安定を目的とする(公財)交通遺児等育成基金を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通遺児等育成基金】		2,781	2,361	2,898	2,964	66	2.3%
(7) (公財)交通遺児育英会の支援 交通遺児の修学を援助する(公財)交通遺児育英会を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通遺児育英会】		10,000	10,000	10,000	10,000	0	0.0%
(8) 交通事故被害者に対する情報提供支援 交通事故被害者およびその家族に対する情報提供を支援する。 【JA共済連】		—	—	2,000	700	▲ 1,300	▲65.0%
小 計		158,166	150,087	161,524	157,660	▲ 3,864	▲2.4%

4. 後遺障害認定対策

(単位：千円)

事業の内容(令和8年度) 【 】内は事業主体	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する支援の実施 交通事故医療に関する臨床的研究を対象に、研究課題を特定して公募のうえ選定した医療研究に助成し、交通事故被害者に対する適正な後遺障害認定に資する。【公募】	8,500	8,500	9,000	8,600	▲ 400	▲4.4%
小 計	8,500	8,500	9,000	8,600	▲ 400	▲4.4%

5. 医療費支払適正化対策

(単位：千円)

事業の内容(令和8年度) 【 】内は事業主体	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 医療分野研修等の実施 医療分野研修を実施し、医療費支払の適正化を図る。 【(一社)JA共済総合研究所】	55,200	55,176	55,200	55,200	0	0.0%
小 計	55,200	55,176	55,200	55,200	0	0.0%

※ 1. 自動車事故防止対策、2. 救急医療体制の整備、3. 自動車事故被害者対策、4. 後遺障害認定対策 および 5. 医療費支払適正化対策の合計金額

(単位：千円)

	令和6年度 計画額	令和6年度 実績額	令和7年度 計画額 (a)	令和8年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
合 計	1,067,066	954,138	1,088,774	1,131,780	43,006	3.9%

## 自賠責共済運用益拠出額の推移

(単位:千円)

年度 拠出項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)
1. 自動車事故防止対策	675,700	▲ 122,000	▲ 19.3	675,700	0	0.0	629,700	▲ 46,000	▲ 6.8	629,700	0	0.0	631,046	1,346	0.2
2. 救急医療体制の整備	455,500	▲ 10,000	▲ 2.5	445,500	▲ 10,000	▲ 2.2	435,500	▲ 10,000	▲ 2.2	415,500	▲ 20,000	▲ 4.6	395,500	▲ 20,000	▲ 4.8
3. 自動車事故被害者対策	202,099	▲ 3,036	▲ 1.5	194,931	▲ 7,168	▲ 3.5	199,045	4,114	2.1	191,925	▲ 7,120	▲ 3.6	193,104	1,179	0.6
4. 後遺障害認定対策	—	▲ 25,000	▲ 833.3	6,000	6,000	—	9,000	3,000	50.0	9,000	0	0.0	3,000	▲ 6,000	▲ 66.7
5. 医療費支払適正化対策	54,200	▲ 5,800	▲ 10.5	54,200	0	0.0	54,200	0	0.0	54,200	0	0.0	55,200	1,000	1.8
合計	1,387,499	▲ 165,836	▲ 12.9	1,376,331	▲ 11,168	▲ 0.8	1,327,445	▲ 48,886	▲ 3.6	1,300,325	▲ 27,120	▲ 2.0	1,277,850	▲ 22,475	▲ 1.7

(単位:千円)

年度 拠出項目	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)
1. 自動車事故防止対策	611,755	▲ 19,291	▲ 3.0	595,755	▲ 16,000	▲ 2.6	557,750	▲ 38,005	▲ 6.4	494,700	▲ 63,050	▲ 11.3	522,550	27,850	5.6	579,820	57,270	11.0
2. 救急医療体制の整備	395,500	0	0.0	375,500	▲ 20,000	▲ 5.1	355,500	▲ 20,000	▲ 5.3	350,500	▲ 5,000	▲ 1.4	340,500	▲ 10,000	▲ 2.9	330,500	▲ 10,000	▲ 2.9
3. 自動車事故被害者対策	182,737	▲ 10,367	▲ 5.3	190,631	7,894	4.3	175,868	▲ 14,763	▲ 7.7	158,166	▲ 17,702	▲ 10.1	161,524	3,358	2.1	157,660	▲ 3,864	▲ 2.4
4. 後遺障害認定対策	6,000	3,000	100.0	9,000	3,000	50.0	9,000	0	0.0	8,500	▲ 500	▲ 5.6	9,000	500	5.9	8,600	▲ 400	▲ 4.4
5. 医療費支払適正化対策	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0
合計	1,251,192	▲ 26,658	▲ 2.0	1,226,086	▲ 25,106	▲ 2.0	1,153,318	▲ 72,768	▲ 5.9	1,067,066	▲ 86,252	▲ 7.5	1,088,774	21,708	2.0	1,131,780	43,006	3.9

(注) 拠出額は年度初期の予定額であり、実績額ではない。

令和6年度自賠責共済運用益拠出事業の内容

1. 自動車事故防止対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 全国一斉交通安全運動の協賛 【724千円】	<p>★ 内閣府他の全国一斉交通安全運動に協賛し、交通事故の防止を図る。</p> <p>○ 内閣府が主催する春および秋の全国交通安全運動用ポスターを購入・配布（春11,070枚、秋10,145枚）し、各JAおよび関連団体に掲示を依頼して期間中の各地域における交通安全活動に活用した。</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(2) シートベルト・チャイルドシート着用推進運動の協賛 【1,000千円】	<p>★ シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の着用推進運動に協賛し、交通事故の防止・軽減を図る。</p> <p>○ シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会（内閣府、文部科学省、警察庁、国土交通省および自動車関連団体等で構成、（一財）日本交通安全教育普及協会が事務局）のシートベルト・チャイルドシート着用推進運動に協賛した。</p> <p>○ シートベルト・チャイルドシート着用必要性等の啓発広報活動を行った。</p>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(3) 自動車点検整備推進運動の協賛 【500千円】	<p>★ 自動車点検整備推進協議会の自動車点検整備推進運動に協賛し、交通事故の防止を図る。</p> <p>○ 自動車点検整備推進運動に協賛し、9～10月の自動車点検整備推進の重点月間に点検整備の重要性の周知を図ることを目的としたポスターを掲示およびチラシ等を配布した。</p>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(4) 交通安全スローガン・ポスター募集事業への協賛 【2,750千円】	<p>★ 毎日新聞社・（一財）全日本交通安全協会の交通安全スローガン・ポスター募集事業に協賛し、交通事故の防止を図る。</p> <p>○ 交通安全スローガンおよびポスターの募集事業に協賛（大賞受賞スローガンはJA共済全国一斉交通安全運動の統一スローガンとして使用）した。</p> <p>○ スローガン応募数：32,958点</p> <p>○ ポスター応募数：1,986点</p>	<p>○ スローガン、ポスターの大賞作品を選定する審査会に出席</p> <p>○ 活動状況についてヒアリングを実施</p>
(5) （一財）全日本交通安全協会の支援 【2,000千円】	<p>★ 交通安全事業を行う（一財）全日本交通安全協会を支援し、交通事故の防止を図る。</p> <p>○ 「幼児教育用教材の作成・普及」や「チャイルドシートの使用に関する広報啓発」、「新入学児童への黄色いワッペン」の配布、「高齢者に対する交通安全教育」、「自転車の交通ルール・マナーの周知」などを実施。</p> <p>○ 春の全国交通安全運動、秋の全国交通安全運動を関係省庁・団体と共催。</p> <p>○ 交通安全教育の推進。</p>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(6) 反射材を活用した交通安全啓発活動の実施 【6,500千円】	<p>★ 反射材フェアに協賛し、夜間の交通事故防止に効果的な反射材の普及促進を図る。</p> <p>○ （一財）全日本交通安全協会 反射材活用推進委員会が主催し、警察庁が後援する「反射材フェア」に協賛し、夜間の交通事故防止に効果的な反射材資材の普及促進を行った。</p>	<p>○ 活動状況についてヒアリングを実施</p> <p>○ 反射材フェアの現地視察を実施</p>
(7) 生徒向け自転車交通安全教室の実施 【237,438千円】	<p>★ 交通事故未然防止に必要な知識や技能の習得の促進を図る。</p> <p>○ 危険な自転車走行に伴う交通事故の実演（スタントマン）により、生徒に危険性を疑似体験させるスケアード・ストリート教育技法による自転車交通安全教室を警察等と連携して開催した。（170回開催、70,572名参加）</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(8) シルパー世代向け交通安全教室の実施 【48,584千円】	<p>★ 高齢者対象の交通安全教室を実施し、交通事故の防止を図る。</p> <p>○ 全国各地で、高齢者向けプログラム（交通安全講話、身体機能の衰えに関するDVD鑑賞や敏捷性測定等）による高齢者対象の交通安全教室を開催した。（53回開催、4,243名参加）</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施

(9) シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 【74,155千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 高齢者を対象に自動車安全運転診断等を実施し、交通安全意識の向上促進を図る。</li> <li>○ 全国各地でドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に巡回・派遣させ、高齢ドライバーを対象に安全運転診断を開催した。(56回開催、1,608名参加)</li> </ul>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(10) 交通安全啓発活動の浸透・定着に向けた取り組み 【1,233千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 交通事故防止対策コンテンツにかかる情報発信を定期的実施し、効果的な展開・活用促進を図る。</li> <li>○ 関係団体・行政(警察庁・PTA協議会等)に対し、JA共済が制作した交通事故防止対策コンテンツを紹介するチラシを提供した。</li> </ul>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(11) 歩行者向け交通安全啓発活動の実施 【16,374千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発活動を実施し、反射材の着用促進を図る。</li> <li>○ 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発に向けたコンテンツを全国展開し、各地で開催した。(13回)</li> </ul>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施

## 2. 救急医療体制の整備

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 救急医療機器等購入費補助 【343,612千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 地域の救急医療を担う病院に対して救急医療機器等購入費を補助し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。</li> <li>○ 43病院に対する救急医療機器購入費補助 旭川厚生病院、帯広厚生病院、札幌厚生病院、遠軽厚生病院、網走厚生病院、倶知安厚生病院、かつの厚生病院、能代厚生医療センター、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院、埴厚生病院、東北医療センター高萩協同病院、上郡賀総合病院、佐野厚生総合病院、相模原協同病院、浅間南麓こもる医療センター、北アルプス医療センターあづみ病院、長野松代総合病院、糸魚川総合病院、上越総合病院、小千谷総合病院、長岡中央総合病院、厚生連滑川病院、中濃厚生病院、JA静岡厚生連清水厚生病院、江南厚生病院、松阪中央総合病院、鈴鹿中央総合病院、広島総合病院、尾道総合病院、吉田総合病院、周東総合病院、長門総合病院、小郡第一総合病院、阿南医療センター、屋島総合病院、滝宮総合病院、JA高知病院、福岡整形外科病院、大分県厚生連鶴見病院、鹿児島厚生連病院</li> <li>主な機器は、超音波診断装置・内視鏡などであり、検査時間の短縮、診断精度の向上等、有効に活用されていることを事務局で確認している。</li> <li>○ 1病院に対するリハビリ機器購入費補助 福岡整形外科病院</li> </ul>	○ 購入機器の写真等を添付した報告書を受領
(2) 救急ヘリ普及推進活動の支援 【5,500千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワークの救急医療用ヘリに関する啓発・広報活動費用を支援し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。</li> <li>○ 交通事故被害者の被害軽減・救命率向上に寄与する救急ヘリ普及推進活動を行うNPO法人 救急ヘリ病院ネットワークに対し寄付を行った。</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施

3. 自動車事故被害者対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 自賠責制度周知活動の実施 【2,992千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 自賠責共済・自賠責保険の未加入車両の解消を図る自賠責制度周知活動を実施し、被害者救済に役立てる。</li> <li>○ 全国のJA等で秋の全国一斉交通安全運動期間を中心に、国土交通省作成のリーフレット(約61万部)・ポスター(約4万枚)を配布・掲示を行った。</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(2) 交通事故無料法律相談事業の支援 【47,335千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ (公財)交通事故紛争処理センターの自動車事故損害賠償に関する無料法律相談事業を支援し、紛争解決を図る。</li> <li>○ JA共済加入車両の相談等は353件(前年度:321件)であり、前年度より取扱件数は増加した。</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(3) 交通事故無料法律相談機関の支援 【20,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 交通事故法律相談を行う(公財)日弁連交通事故相談センターを支援し、紛争解決を図る。</li> <li>○ 令和6年度のJA共済に加入している車両の交通事故に関する示談斡旋は、申込受理件数83件(前年度92件)、斡旋延回数177回(同155回)であり、審査は、申込受理件数7件(前年度4件)、審査回数11回(同12回)であった。</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(4) 介助犬の普及支援 【42,399千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 身体障害者の日常生活を補助する介助犬の普及を支援し、被害者救済に役立てる。</li> <li>○ 特定NPO法人日本補助犬情報センター(旧、介助犬アカデミー)の活動状況</li> <li>○ 身体障害者補助犬育成補助事業など介助犬・補助犬に関する調査研究・講演等、介助犬・補助犬に関する啓発活動</li> <li>○ (社福)日本介助犬協会の活動状況</li> <li>○ 介助犬の育成・提供、介助犬の認知度向上のための講演会・イベント開催、介助犬利用者・希望者の相談</li> <li>○ 介助犬の認知度向上を図るための、デモンストレーション・ポスター等による広報活動を行った。(後援:厚生労働省)</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(5) 交通事故医療研究の支援 【25,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 交通事故医療の研究にかかる研究費の一部助成。</li> <li>○ 交通外傷後の腕神経叢障害に対する神経磁界計測の局在診断 佐々木 亨(東京医科歯科大学大学院 整形外科学分野)</li> <li>○ 重症頭部外傷における穿頭頭蓋内初圧値測定の意味と圧波形による転帰予測 大谷 直樹(日本大学病院 脳神経外科)</li> <li>○ 重症外傷出血性ショックに対する早期昇圧剤併用の効果:多施設ランダム化比較試験 高山 渉(東京医科歯科大学病院 救命救急センター)</li> <li>○ PICと<math>\alpha</math>2-PIを用いた頭部外傷後線溶亢進の病態解明 中江 竜太(日本医科大学付属病院 高度救命救急センター)</li> <li>○ 0-link systemを用いた脊髄損傷機能予後予測マーカー検索 小野 玄太郎(九州大学大学院 医学研究院 整形外科学分野)</li> <li>○ 大腿骨骨幹部骨折に対する高気圧酸素治療の有効性 小柳津 卓哉(東京医科歯科大学病院 高気圧治療部)</li> <li>○ CT画像から外傷性頸椎骨折を自動検出する人工知能 喜多 洗介(大阪大学大学院 医学系研究科 人工知能画像診断学)</li> <li>○ 人工知能を用いた注意すべき頸椎損傷・頸椎疾患の自動判別システムの開発 山田 勝久(北海道大学病院 整形外科)</li> <li>○ 総合的解析による外傷病態の深層解明と治療戦略の最適化 館野 丈太郎(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)</li> <li>○ AMPA受容体PETイメージング技術による重症頭部外傷後の高次脳機能障害メカニズム解明と新規治療ターゲットの探索 大竹 誠(横浜市立大学附属病院 脳神経外科/救急科)</li> <li>○ 骨折後の骨癒合不全リスクに対する、血清トリプターゼ濃度を用いた新規評価法の確立 春田 陽平(済生会福岡総合病院 整形外科)</li> <li>○ 凍結乾燥iPS細胞由来巨核球・血小板製剤の規格最適化と中型動物での検証 志賀 康浩(千葉大学大学院 医学研究院 整形外科学 先端脊椎関節機能再生医学講座)</li> <li>○ 人工知能を用いた外傷傷病者緊急度評価モデルの開発 北野 信之介(日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)</li> <li>○ 頭部外傷後の機能回復の程度を予測する新規のバイオマーカーの探索 住吉 京子(独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター脳神経外科)</li> <li>○ コンパートメント症候群の骨格筋予後を規定する損傷筋の免疫微小環境の解明 岩崎 健(九州大学病院 病理診断科・病理部)</li> <li>○ 日本における外傷患者に対しての全血製剤の使用可能性とその予測される効果についての検証 青木 誠(前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JA共済医療研究助成審査委員会を開催し、助成対象25テーマを選定</li> <li>○ 各研究の成果については、報告書の提出を求めるとともに、学会等にも積極的に発表するよう依頼している</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通事故患者における病院前パラメータから算出される新規予後予測モデルの開発 片山 祐介（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）</li> <li>○ 頭部外傷後高次脳機能障害に対する水素治療の有効性と作用機序の検討 中川 政弥（防衛医科大学校 医学研究科 脳神経外科学講座）</li> <li>○ 頭部外傷治療刷新に向けたエビデンス創出の基盤となる転帰予測駆動型の新しい患者層別化手法の確立 松尾 和哉（神戸赤十字病院/兵庫県災害医療センター 脳神経外科）</li> <li>○ 患者が頑張らなくていい人工筋肉アシストによる手指リハビリ装具システムの開発 佐原 玄太（山形県立新庄病院 形成外科）</li> <li>○ 初回頭部CT画像による頭部外傷転帰予測モデル 阿部 大数（東京医科歯科大学 脳神経外科）</li> <li>○ 頭部外傷後患者の低ナトリウム血症を予測するバイオマーカーの探索と新規分子病態の解明に関する研究 中村 洋平（大阪大学医学部附属病院 高度救急救命センター）</li> <li>○ 交通事故による心停止患者の地域間生存予後の比較と予後関連因子の解明 竹井 豊（新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 救急救命学分野）</li> <li>○ 外傷性頸部症候群における上肢症状の客観的評価法の開発 山田 英莉久（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科学分野）</li> <li>○ マウス巨大骨欠損モデルを用いたMasquelet法 固定方法の違いによる誘導膜の生物学的特性の解析と骨再生促進因子の検討（重度四肢外傷からの早期復帰に向けて） 園部 樹（福島県立医科大学 整形外科学講座）</li> </ul>	
（6）（公財）交通遺児等育成基金の支援 【2,361千円】	<p>★ 交通遺児の生活基盤安定を目的とする（公財）交通遺児育成基金を支援し、被害者救済に役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度の交通遺児の加入遺児総数は354名であった。</li> <li>○ 自治体等の相談窓口等を通じた基金制度の紹介等を行った。</li> </ul>	○ 拠出団体（国やJA共済連等）の拠出分担割合にもとづく
（7）（公財）交通遺児育英会の支援 【10,000千円】	<p>★ 交通遺児の教育機会均等を目的とする奨学金事業等の支援を目的とする（公財）交通遺児育英会を支援し、被害者救済に役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度の在学奨学生数は849名であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動状況についてヒアリングを実施</li> <li>○ 高校奨学生と保護者のつどいの現地視察を実施</li> </ul>

#### 4. 後遺障害認定対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
（1）適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する支援 【8,500千円】	<p>★ 交通事故被害者に対する適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する研究費用の一部を助成する（令和6年度の課題は、「四肢外傷の治療および障害に関する臨床研究」）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四肢骨折の骨癒合を促進する機能性人工骨の開発 江川 聡（東京医科歯科大学病院 整形外科）</li> <li>○ 高齢者四肢外傷に対する新たな治療戦略策定の基盤となる病態および予後の解明 松井 健太郎（帝京大学医学部附属病院 外傷センター）</li> <li>○ 機械学習を活用した高齢下肢外傷患者の有害事象リスク評価と実装研究 百崎 良（三重大学医学部附属病院 リハビリテーション部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JA共済医療研究助成審査委員会を開催し、助成対象3テーマを選定</li> <li>○ 各研究の成果については、報告書の提出を求めるとともに、学会等にも積極的に発表するよう依頼している</li> </ul>

#### 5. 医療費支払適正化対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
（1）医療分野研修等の実施 【55,176千円】	<p>★ 医療分野研修を実施し、医療費支払の適正化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療研究研修部で、医療費査定業務に従事する者を対象とした医療研修会（脊椎・脊髄外傷コース、四肢外傷コース、頭部外傷コース）の研修会を対面で実施した。研修会受講者は合計87名であった。</li> </ul>	○ 活動状況についてヒアリングを実施